

た か は ぎ

2022.5
No.169

議会だより



令和4年第1回臨時会

会期 1月17日

議案に対する質疑…………… 2

令和4年第1回定例会

会期 3月4日～3月24日

議案に対する質疑・討論…… 5

委員会審査報告…………… 6

市政に対する一般質問……… 8

たかはぎ認定こども園

令和4年第1回臨時会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度高萩市一般会計補正予算（第9号））	歳入歳出予算に、1億8,137万円を追加したもの。子育て世帯等臨時特別支援経費。	原案承認（全員賛成）
議案第1号	令和3年度高萩市一般会計補正予算（第10号）	歳入歳出予算に、3億7,069万3千円を追加するもの。住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付経費の追加等。	原案可決（全員賛成）

菊地 正芳 議員
 質問 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付経費について、生活保護世帯への対応について伺います。
 健康福祉部長 生活保護受給世帯につきましても非課税世帯と見なされますので、支給対象になります。
 質問 世帯分離の方への対応について伺います。
 健康福祉部長 基準日が12月10日になりますので、それ以降に世帯分離した方は対象外です。
 質問 世帯主の口座へ振り込まれるということですが、様々な原因があつて世帯主と離れて暮らすような状況があつた場合への対応について伺います。
 健康福祉部長 個別に検討してまいります。
 質問 相談体制について伺います。
 健康福祉部長 生活困窮者自立支援相談窓口や生活保護相談窓口、また、社協にも特例貸付の窓口がありますので、そちらでも相談を受けられるよう体制整備を進めてまいります。

議案第1号 令和3年度高萩市一般会計補正予算（第10号）



第1回臨時会
 第1回定例会

令和4年第1回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度高萩市一般会計補正予算（第11号））	歳入歳出予算に、2,483万7千円を追加したもの。低所得のひとり親世帯に対する生活支援特別給付金給付経費等。	原案承認（全員賛成）
報告第3号	専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解について）	市道路面の陥没により、走行中に損害を与えた車両への賠償。	—
報告第4号	専決処分の報告について（高萩市認定子ども園施設整備工事請負契約の変更について）	国の幼児期運動指針に基づき、幼児期に必要な基礎的な動きを身につけるための園庭遊具を追加設置するもの。変更後契約額7億4,672万4千円(92万4千円の増)。	—
議案第2号	高萩市公平委員会の委員の選任について	中田幸雄氏が任期満了となるため、再任について、議会の同意を求めるもの。	原案同意（全員賛成）
議案第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	石川典子氏が任期満了となるため、再任について、議会の意見を求めるもの。	原案同意（全員賛成）
議案第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	鈴木充弘氏が任期満了となるため、再任について、議会の意見を求めるもの。	原案同意（全員賛成）
議案第5号	令和3年度高萩市一般会計補正予算（第12号）	歳入歳出予算に、3億6,618万円を追加するもの。財政事務経費の増等。	原案可決（賛成多数）

令和4年第1回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第6号	令和3年度高萩市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出予算に、2億5,940万4千円を追加するもの。一般被保険者療養給付費の増等。	原案可決 (全員賛成)
議案第7号	令和3年度高萩市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	歳入歳出予算に、2,597万8千円を減額するもの。介護予防・生活支援サービス事業費の減等	原案可決 (全員賛成)
議案第8号	高萩市土地開発公社経営健全化基金条例の廃止について	高萩市土地開発公社の解散に伴い、廃止するもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第9号	高萩市企業誘致審議会条例の廃止について	赤浜地区工業団地分譲区画の売り払い完了に伴い、廃止するもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第10号	高萩市内部組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	組織の改編に伴い、部の統合、事務分掌を見直すため、関係条例の改正を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第11号	高萩市特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に伴う期末手当の改定等及び市長、副市長、教育長の給与の削減期間を延長するもの。	原案可決 (賛成多数)
議案第12号	高萩市個人情報保護条例の一部改正について	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律等の施行に伴い、条例中で引用する法律名等を改めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第13号	高萩市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	人事院規則の一部改正に併せて、非常勤職員の育児休業及び介護休暇等の取得要件の緩和等を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第14号	高萩市特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	高萩保育所の廃止に伴い、嘱託医等の報酬額を削除するとともに、認定こども園の設置に伴い、園医等の報酬額を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第15号	高萩市国民健康保険条例の一部改正について	国民健康保険支払準備基金の設置目的及び基金の処分事由等の見直しを図るもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第16号	高萩市国民健康保険税条例の一部改正について	国民健康保険税の賦課方式の見直し及び全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律の施行等に伴うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第17号	高萩市営住宅管理条例の一部改正について	民法の改正に伴い、成年年齢の見直しが行われること及び地方税法の改正により、寡婦(寡夫)控除が見直され、ひとり親控除が創設されたことに伴い、文言整理を行うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第18号	高萩市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	消防団員の定数見直し及び処遇改善を図るため報酬額を引き上げるもの。	原案可決 (全員賛成)

令和4年第1回定例会に提出された議案等

事件番号	件名	内容	審議結果
議案第19号	高萩市道路線の廃止について	国有林内の市道について、市道路線を廃止するもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第20号	高萩市道路線の変更について	国有林を跨ぐ市道について、市道路線を変更するもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第21号	令和4年度高萩市一般会計予算	令和4年度当初予算127億9,100万円を定めるもの。	原案可決 (賛成多数)
議案第22号	令和4年度高萩市国民健康保険事業特別会計予算	令和4年度当初予算27億5,500万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第23号	令和4年度高萩市後期高齢者医療事業特別会計予算	令和4年度当初予算4億4千万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第24号	令和4年度高萩市介護保険事業特別会計予算	令和4年度当初予算27億9,450万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第25号	令和4年度高萩市霊園事業特別会計予算	令和4年度当初予算1,570万円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第26号	令和4年度高萩市水道事業会計予算	令和4年度当初予算11億1,396万9千円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第27号	令和4年度高萩市工業用水道事業会計予算	令和4年度当初予算2億8,240万9千円を定めるもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第28号	令和3年度高萩市一般会計補正予算(第13号)	令和3年度の子育て世帯等臨時特別支援経費について、次年度にわたって給付が見込まれることから、必要経費を令和4年度に繰り越すもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第29号	高萩市空家等対策協議会条例の一部改正について	市内部組織の改編に伴うもの。	原案可決 (全員賛成)
議案第30号	高萩市議会委員会条例の一部改正について	市内部組織の改編に伴い、総務産業委員会の所管事項における部の名称を改正するもの。	原案可決 (全員賛成)
決議案第1号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議し平和的解決を求める決議の提出について	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議するとともに、国際法を遵守し、平和的解決を行うよう強く求めるため、決議するもの。	原案決議 (全員賛成)
意見書案第1号	コロナ禍による米価下落の対策を求める意見書の提出について	提出された請願の採択により、議会としての意見書を政府に提出するもの。	原案決議 (賛成多数)

提出された議案等について、内容の詳細は、議会事務局で閲覧できます。

議案質疑

議案第5号 令和3年度高萩市
一般会計補正予算(第12号)

坪和 久男 議員

質問 高萩市土地開発公社解散に伴う残余財産分配金906万円の補正内容を伺います。

企画部長 令和3年10月12日に茨城県知事の認可により解散し、その後、清算事務を経て、12月17日に残余財産906万47円で確定したところです。確定した残余財産については、高萩市土地開発公社の規定に基づき高萩市に帰属されたことから、歳入として補正するものです。

質問 消防庁舎整備事業729万1千円の減額補正内容を伺います。

消防長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、消防庁舎内仮眠室をカプセルベッドにより個室化し、隊員間の新型コロナウイルス感染防止と衛生面を配慮した施設環境の確保を図るための事業です。指名競争入札により、指名業者12社中2社が入札を行い、決定しました。今回の減額補正については、予

算額1736万7千円と執行額1007万6千円の差額729万1千円を減額するものです。



カプセルベッド

討論

議案第21号 令和4年度高萩市
一般会計予算

反対討論 平 正三 議員

第1点は、市民体育館雨漏り問題です。

市民体育館を安全に利用できるようにするのが行政の責任です。雨漏りを完全に解消するには、屋根の全面的な改修を行えば解決できます。

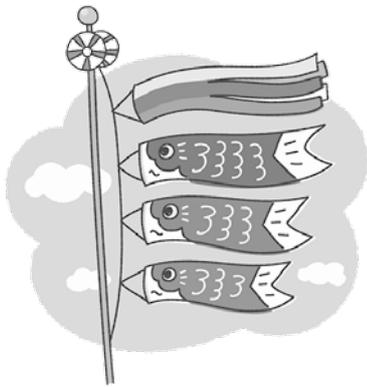
第2点は、18歳まで医療費無償

化問題です。

今年の市長選で大部かつのり後援会が発行するチラシに、4年間の実績として、18歳まで医療費無償化を実現したと、市民に広報しているが、事実と違います。医療費無償化とは、金銭の支払いが一切ないことで、高萩市は外来で個人負担があり、医療費助成制度で無償化ではありません。18歳まで医療費無償化の実施を求めます。

第3点は、中学校入学時の制服無償化問題です。

中学校に入学するとき、制服をはじめ10種類の学用品の費用として、約8万円の父母負担が求められ、その約半分が制服代です。どの子供も経済的負担を感じることなく、安心して中学校に入学できるように制服代の無償化を求めます。



請願・陳情の審議結果

件名	結果
コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	採択

委員会審査報告

総務産業委員会

3月15日、当委員会に付託された議案11件、請願1件の審査を行った。

○令和3年度高萩市一般会計補正予算(第12号)

問 高萩創生総合戦略推進経費のうち、たかほぎ住マイル支援補助金293万3千円の減額について内容を伺う。

答 たかほぎ住マイル支援補助金については、本市の定住人口の増加や若者、子育て世代の定住化を促進し、人口減少を抑制するとともに、地域の活性化や住環境の改善を図るため、住宅を市内に取得またはリフォームする際に要する経費の一部について、10万円を限度に支援するほか、転入加算として5万円を加算するものです。当初補助件数85件、転入加算20件を見込んでいましたが、それぞれ17件、12件少なかったため減額補正いたしました。



文教厚生委員会

3月14日、当委員会に付託された報告1件、議案6件、請願1件の審査を行った。

○令和3年度高萩市一般会計補正予算(第12号)

問 新型コロナウイルス感染症に伴う小学校支援経費及び中学校支援経費の内容を伺う。

答 新型コロナウイルス感染症の予防などに要する消耗品と備品について、各学校の裁量により様々な品を購入する経費です。

問 社会福祉施設整備支援事業の認知症高齢者グループホーム等防災改修等支援事業費補助金1274万4千円減額の理由は。

答 介護施設の防災、減災対策推進を目的として施設への非常用自家発電設備の整備に要する経費(国庫補助)を令和3年9月定例会で議決を頂きましたが、国庫補助の交付申請にて事業が不採択となったため、皆減するものです。不採択の理由は10分の10の国の補助であることから県内応募件数も44件と非常に多く、採択は申請件数の半分でした。対象となった事業所は福祉避難所となっている施設が優先されたと聞いています。



問 介護保険事務経費921万6千円減額の理由は。

答 新型コロナウイルス感染症の拡大により介護認定の更新申請期間が1年間延長できることとなっているため、認定調査の実施件数が減ったこと、それに伴い医師による主治医意見書の作成依頼件数も減少したこと等により減額するものです。次いで地域支援事業費繰出金の減額もコロナの影響により、要支援状態の方を対象とした訪問、通所サービス等の利用者が減ったこと、また地域支援事業に関する会議や研修会等の中止もあったため減額するものです。

委員会審査報告

予算特別委員会

3月16日、17日、18日、当委員会に付託された議案7件の審査を行った。

○令和4年度高萩市一般会計予算 〔総務産業委員会所管〕

問 生活改善センタースロープ設置工事の内容について伺う。

答 4つの改善センターについて、玄関入り口へのスロープ及び手すりの設置を実施いたします。設置場所は、大能生活改善センター、秋山生活改善センター、秋山中集落センター、石舟生活改善センターです。

問 街路整備事業（都市計画道路3・4・1号安良川下手綱線整備事業）の公有財産購入費及び補償補填及び賠償金の内容について伺う。

答 用地買収につきましては、市道1132号線から高萩インター線までの区間延長170メートル、用地取得面積が2647平方メートルを計上しており、金額につきましては5051万円となります。補償補填及び賠償金につきましては、家屋移転が4件、工作物等移転が12件、営業補償が3件で、金額は2億4959万2千円

となります。

問 高萩アウトドアフィールド事業経費のはぎビレッジ整備工事請負費3133万9千円の内容について伺う。

答 はぎビレッジのエリア拡大を図るため、アウトドア事業を実施する事業者の募集を行った結果、新規事業者として2事業者の参入が決定いたしました。開設時期は、1事業者が令和4年中、もう1事業者が令和4年夏頃を予定しており、その事業者が事業を実施するための水場の確保やインフラ等、必要最小限の環境を整えるための工事を実施するものです。具体的には、井戸及びポンプ設置、シンク及び浄化槽の工事、敷地内の通路の土留め工事となります。



はぎビレッジ

〔文教厚生委員会所管〕

問 総合福祉センター屋上防水改修事業2642万6千円の内容について伺う。

答 建築から21年が経過し、屋上については1回も改修を行っていないことから、今回防水加工を行うものです。この工事の耐用年数は10年から17年とされています。

問 空家等対策協議会の組織及び協議内容について伺う。

答 委員の構成は、建築の専門家、宅地建物取引業者、警察、弁護士、消防団長等10名で組織されており、協議の内容につきましては、相続や不動産等についての専門家のご助言等を頂きながら、空き家解消を進める上での方策を決定していく機関です。

問 青少年対策用自動車（低公害車）購入は、ゼロカーボンシティ宣言に基づくCO₂排出量実質ゼロの実現を目指す取組の一貫として、本市で初めて電気自動車を購入することだが、今後、公用車の更新時には電気自動車等を計画的に導入していくのか伺う。

答 今後導入する公用車については、低公害車、いわゆる電気自動車・ハイブリッド自動車の購入を検討していきたいと考えています。

問 穂積家住宅茅葺屋根修理事業の修理内容について伺う。

答 現在、茅がかなり痩せ、骨材が露出している部分も見受けられ、また、煙出し部分のはりの一部に折れやゆがみ、傾きが見られる状況です。修理内容は、住宅西側屋根にある煙出しの合掌材の一部交換修理及び茅葺屋根のふき替えになります。工期は10か月を予定しており、その間は休館で対応したいと考えています。



県指定文化財 穂積家住宅



渡辺悦夫 議員

市長の公約について

質問 市長の政策には、教育環境の整備とありますが、具体的にどのように考えているのか、市長の考えについて伺います。

市長 人口減少や少子化による学校の小規模化が進行している中、児童生徒によりよい学習環境を提供するため、速やかに学校適正配置計画の策定を進めてまいりませう。策定に当たりましては、検討委員会を設置し、保護者や地域住民、有識者等から広く意見を頂きながら、検討を重ねてまいります。具体的には、令和4年度に基本方針を、令和5年度に適正規模、適正配置計画を策定してまいりたいと考えております。

質問 次に、まちの魅力づくりとして、体験型観光の充実、花貫溪谷の整備とありますが、市長の構想を伺います。

市長 体験型観光を充実させるため、専門的なノウハウを持つ民間事業者の取組を支援するとともに、新たなアウトドア事業者の誘致に向けて環境整備等を行ってまいります。花貫溪谷の整備については、自然豊かな本市を象徴する

場所であり、年間の観光入込客の約7割が訪れる最大の観光スポットであります。自家用車による栃木方面からの観光客も増加しており、今後のさらなる交流人口の増加も見込めるところであります。花貫溪谷利活用・整備基本構想を策定し、花貫溪谷の整備を計画的に進め、地域活性化を図りたいと考えております。



花貫溪谷



車中泊実証実験で使われる車両



坪和久男 議員

県北医療センターの医療体制について

質問 今後の常勤医師の安定確保について伺います。

市長 消化器内科は、4月から常勤医師の配置を予定しているというところであります。令和4年度からの新たな施策といたしまして、市内病院の常勤医師の雇用促進を図るための医師定住促進事業補助金を本定例会に提案しております。市といたしましては、引き続き県や厚生連などと連携を密にしながらか、常勤医師の安定確保に努めてまいりたいと考えております。

質問 小児科外来診療について伺います。

市長 令和4年4月から、外来診療につきましては週3日から週5日での診療となる予定であります。今後も、できるだけ小児科医につきましては、常勤で診療ができるように進



めるように進

めていきたいと考えております。

消防団員確保による地域防災力の向上について

質問 来年度から定員の削減が行われますが、それでも定員割れになることが懸念されます。これからも人口減少や高齢化が進む中、消防団員の確保には、市内企業、事業所の協力が不可欠であると考えますので、消防団協力事業所制度の現状について伺います。

消防長 高萩市消防団協力事業所表示制度につきましては、事業所が協力事業所として認定されることで、社会貢献していることが社会的に評価され、事業所の信頼性の向上につながることから、再度各事業所に周知を図るとともに、各種検査や普通救命講習会などの機会を利用し、この制度を推進してまいりたいと考えております。





我妻康伸 議員

市政運営について

質問 4年間市政運営を担う市長の決意をお聞かせください。

市長 コロナ禍の中で迎える2期目のスタートにおいて、改めてその重責を痛感いたしますとともに、市民の皆様のご期待に沿えるよう、初心を忘れることなく、誠心誠意、全力で市政運営に取り組んでまいります。また、引き続き市民役のまちづくりを基本とし、市民の意見を反映させながら、各施策を推進することで、地域力により、市民の誰もが笑顔で暮らすことができるまちを未来へ継承してまいります。市民の豊かな生活実現のため、しっかりと働いてまいります。

安心・安全なまちづくりについて

質問 児童生徒に対する防災教育について伺います。

教育長 東日本大震災から11年を迎え、震災を経験していない児童生徒が今後増えていく状況にあります。教訓から学ぶ、風化させないなどの意識を大切に防災教育



萩っ子防災訓練（東小学校）

育を推進していくことが必要であると捉えております。小中学校における防災教育を充実させることと、さらには、コミュニティスクールの機能を生かした学校と地域が連携した防災教育に取り組むことが災害に強いまちづくりにつながると考えておりますので、今後も関係機関との連携を深めた防災教育に取り組んでまいります。

質問 防災アプリについて伺います。

市民生活部長 市民の皆様にご利用いただくのは、令和4年5月のゴールデンウィーク明け頃を予定しているところです。



平 正三 議員

東海第二原発問題について

質問 避難先の1人当たり面積が2㎡となっているが、新型コロナウイルス対策を考えた場合、どの程度の広さを考えているのか。

市民生活部長 3㎡以上で調整をしている。

質問 自家用車で避難する人、できない人の人数について伺いたい。市民生活部長 把握していない。

質問 入院、福祉施設に入所されている方の受入時の課題は何か。

市民生活部長 避難時の移動手段の確保や避難先の個別調整は困難である。

質問 実効性ある避難計画策定は不可能であり、東海第二原発は廃炉にすべきである。



東海第二原発で避難が求められる市街地

18歳までの医療費無償化について

質問 2月に行われた市長選で、大部かつのり後援会発行のチラシには、4年間の実績として18歳まで医療費無償化を実現したと記載されているが事実と違うと思う。

市長 18歳までマル福対象としたことを医療費無償化と捉えて記載した。

質問 一部負担があり、無償化とは言えない。18歳まで医療費無償化を実現していただきたい。

市民体育館の雨漏り対策について

質問 雨漏り対策について、どのように行うのか。

市長 雨漏り箇所を特定し、修繕を行っていききたい。

質問 屋根の全面的改修を行えば、雨漏りは直ちに解決できる。なぜ、全面的改修を行う考えがないのか。

市長 高萩市公共施設管理計画で2030年から2039年に建て替えを計画している。

質問 先の問題でごまかすのでなく、屋根の全面的改修に直ちに取組むべきである。



田所和雄 議員

高萩市人口ビジョンについて

質問 市の総人口は、1995年の3万5604人をピークに減少傾向にある。2020年の総人口は、2万7699人であり、出生者数は150人、死亡者数は412人で自然減は262人、転入者数は709人、転出者数は901人で社会減は192人。総人口は1年間で454人減少している。人口ビジョン策定の目的を伺う。

企画部長 人口動向の現状と今後の人口推移を分析し、人口減少抑制の効果的な施策を企画するためです。

質問 社人研の将来人口の推計と3区分別人口推移を伺う。

企画部長 2045年の推計人口は、1万7700人、うち、年少人口が1441人、生産年齢人口が8225人、老年人口が8034人です。

質問 将来目標人口と社人研推計人口との比較と根拠について伺う。

企画部長 将来目標人口は、社人研推計より2600人多く、その根拠は、合計特殊出生率を1・86まで引き上げ、自然減を抑制し、社会減も抑制するものです。

第2期高萩市創生総合戦略について

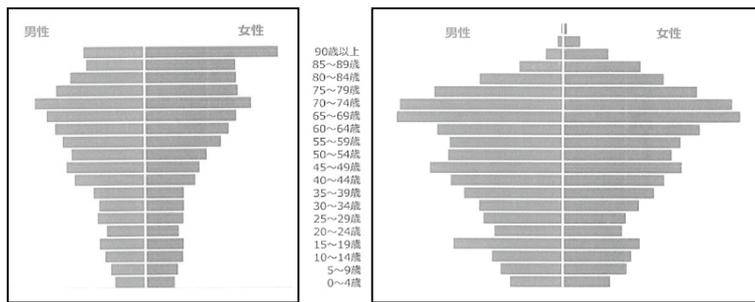
質問 策定方針と基本目標について伺う。

企画部長 人口減少と少子高齢化への取り組みであり、「稼ぐ地域をつくる」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」等の4つの基本目標があります。

その他の質問

〇市の将来目標人口(2045年、2万3000人)は達成できるのか

高萩市の人口ピラミッド



国立社会保障・人口問題研究所 2045年推計人口 17,700人

2020年国勢調査人口 27,699人



吉川道隆 議員

道路整備について

質問 都市計画道路安良川赤浜線について、安良川神宮司のコンビニ前から日立方面に向かう計画で、現在は、イオン周辺に合流して石滝団地につながる計画になっているが、平成27年に日立・高萩・北茨城・東海村の3市1村の協議会において、私の意見で神宮司から南にまっすぐ十王の城の丘付近を通って日立北インターにつながるという事で日立市に申し入れ、検討している。その後どうなっているか。両市で県に要望すれば具体的に検討されると聞いている。

市長 現在の計画では渋滞を招くなど幹線道路としての目的が果たせないため、協議している。県より高萩・日立間の将来的な幹線道路のルート検討準備を始める話があったので、両市においてルート検討業務を新年度予算に計上している。今後日立と協議し、県に要望していきたい。

質問 国道461号線安良川公民館の交差点について、常陽銀行方面から来て461号線に右折するレーンがないため渋滞になる。公民館が解体されるので、この機会

に右折レーンを造ってはどうか。
市長 右折レーンの必要性は認識している。道路管理者である県に設置の要望をしていきたい。

高浜スポーツ広場駐車場について

質問 駐車場の半分は未舗装。利用者が多いので舗装すべきでは。
教育部長 平日は利用が少ないので、舗装は考えていないが、今後適切に管理していく。

質問 舗装してある部分の白線が消えかけている。引き直すべき。
市長 今年度中に整備する。



高浜スポーツ広場駐車場

その他の質問

〇小中学校適正配置について



菊地正芳 議員

子宮頸がんワクチン定期接種について

質問 国の検討部会において、子宮頸がん予防ワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、積極的な接種勧奨を正式に承認し再開することとなりました。全ての対象者に対し、速やかに周知すべきと考えるが本市の対応について伺う。

健康福祉部長 市報やホームページにより、接種ができる旨の情報周知を分かりやすい形で行い、希望する方が速やかに接種できるように柔軟な対応を図ってまいります。



質問 キャッチアップ接種について、接種機会を逃してしまった全ての対象者に、新たに接種機会が確保されたことを速やかに、確実に周知すべきだと考えるが対応について伺う。

健康福祉部長 令和4年4月以降、市で管理する接種履歴に基づき、対象となる方へ順次御案内、予診票を送付する予定であり、希望する方が速やかにワクチン接種できる体制を整えてまいります。

ヤングケアラーについて

質問 国は、2022年度から3年間を集中取組期間に設定し、社会的認知度の向上を図るほか、自治体の取組を支援する新規事業を創設するとしている。これにより自治体への支援の充実が図られるが、支援体制の強化について伺う。

健康福祉部長 要保護児童対策地域協議会を充実させて対応したいと考えています。また、専門の相談や民間支援団体とのパイプ役となるコーディネーター等の配置、民間の支援団体等の育成などについての検討も必要になってくると考えます。

ロシアの軍事侵攻に抗議する決議を可決

3月10日の本会議において、高萩市議会は、「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に抗議し平和的解決を求める決議」を全会一致で可決しました。

決議文は次のとおりです。
2月24日に始まったロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、いまだ収束が見えず子供を含む一般市民の被害は拡大し続けている。このロシアの軍事行動は国際秩序の根幹を揺るがすもので、断じて容認できない。

また、ロシアのプーチン大統領は今回の軍事侵攻に際し、核兵器を後ろ盾に使用をも示唆するような発言をしているが、このことは、昭和63年に核兵器廃絶平和都市宣言を行い、市民とともに平和活動をしてきた高萩市にとっても看過できるものではなく、嚴重に抗議する。

ロシアは即時にロシア軍による攻撃を停止し、ウクライナから完全撤退するよう強く求める。

関係国政府においては一日も早い平和的解決に向けた外交努力を行うとともに、日本政府には惜しみない人道支援を求めるものである。
以上、決議する。

議会日誌

- 2月 18日 議会全員協議会
ICT推進協議会
- 22日 議会運営委員会
- 24日 議会全員協議会
- 25日 日立・高萩広域下水道組合議会定例会

- 3月 4～24日 第1回定例会
- 24日 議会広報委員会
- 25日 高萩・北茨城広域事務組合議会定例会

- 4月 12日 議会広報委員会
- 15日 茨城県北市議会議長会定例会
- 18日 茨城県市議会議長会定例会
- 19日 議会広報委員会



第1回定例会

東地区在住 (男性)

休日は子供と一緒に海、山、川へと足を運びます。

高萩は自然豊かで楽しめるところがたくさんありますが、最近のアウトドアブームで来客が増え、中にはマナーの悪い人も。騒いだり、ごみを置いていく、川を汚す等、そのような人を見かけます。注意をしても知らぬ顔です。市でも対応策を考え、高萩の自然を守ってほしいですね。



島名在住 (男性)

通学にバスを利用しています。最近ではコロナで混み合うバスに乗るのが不安で、徒歩や自転車です。スマホでバスの予約が取れる「のるる」を市が行っていると聞きました。あれってお年寄りだけですか。学生も利用できますか。下校で遅くなったり友達と出かけるときに使ってみたいです。もっと学校にも知らせたら利用者が増えると思います。



My Ride of Net

令和4年第2回定例会(6月) 予定

- 10日(金) 本会議 議案上程
- 13日(月) 本会議 一般質問
- 14日(火) 本会議 一般質問
- 16日(木) 本会議 議案質疑
- 17日(金) 文教厚生委員会
- 20日(月) 総務産業委員会
- 22日(水) 本会議 採決

※開会中においても日程等が変更になることがあります。

インターネット・FMでの放送予定



	インターネット	FM
本会議	市ホームページ (携帯・タブレット可)	○
総務産業委員会 文教厚生委員会	ユーチューブ	○

市のホームページは「高萩市議会」からお入りください。
委員会のインターネット放送は、無料で利用できる動画配信サイトのユーチューブを利用しています。使用環境によっては、視聴できない場合があります。
○FM放送は、全てたかほぎFMです。
※本会議については、これまでの録画もご覧いただけます。

議会広報委員会

- 委員長 八木陽子
- 副委員長 飯田毅昭
- 委員 大野光司
- 我妻康伸
- 岩倉幹良
- 渡辺悦夫
- 坪和久男

初夏を感じる清々しい季節となりました。
小さなお子さんがお母さんと一緒に手をつないで笑顔で新しいことも園に登園していく様子をみて、なんとも優しい気持ちになります。
コロナウイルス感染症や燃料費高騰、物価の値上げ等により社会や生活にもその影響を受け、眉間に皺が寄るとの厳しいご意見が市民から聞かれます。コロナ禍で閉鎖された日常でしたが少しずつ取り戻され、これまで中止とされてきた行事や大会、イベント等も開催されていくことでしょうか。ウィズコロナが当たり前となってきた日常、一人一人が感染防止に正しく努めていただき、今年からは楽しめる明るい日常となるようにしていきたいと思うところで。市議会も市民の生活向上と魅力ある高萩を目指して、皆様の声を形へと変えていけるよう取り組んでまいります。
(大足 光司記)

編集後記